

笑顔がつくる、はつらつ島根。

# とまちやん通信

角ともこ県議会レポート

2011.3.March Vol.16-2



## 努力し続ける人たちに光を当てる政治を

今期最後となる定例議会が2月24日から3月4日まで開かれ、いつものように今回も

までも発言を続けてきました。

一問一答形式の質問に立ちました。私は地域で一生懸命頑張る人たちに光が当たるような仕組みづくりを目指して、これ

公共支援事業の取り組みについての考え方や、こつころカンパニーの認証を取得した企業を応援する仕組みづくりなどについて質問しました。詳しくは定期の議会だよりで報告しますが、その一部概要

いろいろ活用することが必要だという認識は非常に高まっている。その間の領域で活動をするNPOや企業の社会貢献的な活動を強化することによって、豊かな社会ができるよう努力していきたい。

### 努力する企業を応援

子育て応援企業（こつころカンパニー）認定を建設工事以外の入札の参加資格審査の加点項目に取り入れることはされているのか。

健康福祉部長

物品調達や、

それぞれの請負や業務委託の分野でも、入札参加者選定に当たって、「こつころカンパニー」について配慮するよういろいろ検討を続けてきた。その結果、今年の1月から、管財課が所管する庁舎の清掃、警備等の業務委託について、入札参加資格審査での加点が実施されている。また、会計課が所管する物品の売買、借り入れ等に係る入札参加資格者名簿に「こつころカンパニー」の認定状況の有無の記載が追加をされている。

後援会の交流会があり、その中で衆議院議員の江端貴子さんを迎えて、川井市議会議員の進行で、トークショーを行いました。

### 「ひとりづくりの大切さ」と「福祉と女性の視点から」

3月6日、くにびきメッセで



江端貴子衆議院議員とトークショー

「新しい公共支援事業」の考え方を知事に聞く。

知事 今まで民間の経済活動があり、それでできない部分を国、県、市町村といった公共部門が担うといったような二分法の世界であつたが、その間の領域を

「新しい公共支援事業」の考え方を知事に聞く。

「新しい公共支援事業」の考え方を知事に聞く。

私（角ともこ）と江端議員で議員になるきっかけや、現在の取り組みなどについて、約200人の皆さんを前にお話をしました。殊に、江端議員からは、議員となるきっかけとなつた介護の問題に、介護サービスの充実を財源も含めて考えしていくことや、働く女性が増える中、短時間の正規雇用に向けた取り組みの必要性が話されました。

# 心豊かに暮らせる

## 地域づくりをめざして

の整備が進みました。

### ここにカバーの拡大

男女が共に仕事と生活を両立できる職場環境整備を促進するため、公共事業の入札総合評価

皆様に支えられてこの4年間、議会で皆さんのが声を代弁し、しっかりと県の政策や取り組み、事業の実施状況を見守つてきました。

皆さんのが、日々笑顔で過ごせる環境を作っていくことが、地域の支え合いを育み、地域の活動力を生み、ひいては島根の元気となつていきます。その思いを実現するため、全力で取り組んできました。今後も、一人ひとりが大切にされ、皆さんのが役となる政治を実現するため全力でがんばります。

4年間の活動で実現したこと、前進したことについて報告します。

### 乳幼児等医療費助成の拡充

子育て家庭への支援の一つとして、医療費の負担軽減が求められていますが、県内市町村で対応はまちまちであるため、れ、情緒障がい児の療育支援の

間、議会で皆さんのが声を代弁し、しっかりと県の政策や取り組み、事業の実施状況を見守つてきました。

皆さんのが、日々笑顔で過ごせる環境を作っていくことが、地域の支え合いを育み、地域の活動力を生み、ひいては島根の元気となつていきます。その思いを実現するため、全力で取り組んできました。今後も、一人ひとりが大切にされ、皆さんのが役となる政治を実現するため全力でがんばります。

### 情緒障がい児短期治療施設の設置

就学前児童に対象が拡大され、子どもの医療費の負担上限を円に改正されました。※松江市では、すでに小学3年生まで無料としており、さらなる県の対応が必要です。

昨年(10年)12月から、所得制限の撤廃と、3歳未満児から

20年度からの建設工事入札参加資格審査の評価項目に加えられたことで、それまで認定事業所数が26社だったのが、20年

度末には98社となり、さらに来年度から物品・役務にも拡大さ

れることがから、現在(本年2月時点)では168社に増えています。

月曜から金曜日までの毎朝、市内各所の街頭に立ち、通勤途上の皆さんや近くお住まいの皆さんに、議会報告など、私(角ともこの取り組みについてお話をしながら、朝のあいさつをさせていただいています。

このほかにも、木造住宅耐震化助成制度の創設やNPO活動支援体制の充実、不登校の子どもたちへの支援の充実、障がい者の皆さんの就労支援事業所での工賃向上の取り組み支援、高次脳機能障害者の皆さんへの支援、ALS患者の皆さんへの療養を行なう情緒障がい児短期治療施設の設置を求めました。

漂着ごみが増える中、その処理に苦慮する市町村への支援と、特に海と、特に海外からの漂着ごみ対策を国へ要望することを求めていました。

県から国への要望活動開始によつて、国を通じた韓国での啓

発、また、国の海岸漂着物対策モデル事業やグリーンニューディール事業で、市町村でのごみ回収事業の支援が強化されました。

### あらわる場への女性の参画促進

男女が共に仕事と生活を両立できる職場環境整備を促進するため、公共事業の入札総合評価

加点項目に子育て応援企業(こつころカンパニー)の認証を入れることを提案しました。さらには物品・役務への拡大も提案

されました。

外されている審議会・委員会等があり、国の調査における他県との比較では低い状況にあるため、女性の参画促進に積極的な取り組みを求めました。

その結果審議会等の女性の参画率が向上しました。



### 街頭から朝のあいさつ

月曜から金曜日までの毎朝、市内各所の街頭に立ち、通勤途上の皆さんや近くお住まいの皆さんに、議会報告など、私(角ともこの取り組みについてお話をしながら、朝のあいさつをさせていただいています。なかなか、日頃の活動が見えない中で、街宣活動は少しでも皆さんに活動を理解していただける一つの手段としてこれからも続けていきます。車の中から、手を振つたり、クラクションを鳴らしたりして応援してくださる皆さんに励まされ、元気を頂いていることに感謝します。